



## 「出産」

「3438gのかわいい赤ちゃんですよ」と声をかけられ、正直、ほっとした気持ちで満たされた。  
2018年4月19日17時ちょうどに無事出産！

一人目、二人目もそうだったのだが、産後どうしても語句がなめらかに出てこない。  
こんな言葉を発したい、この気持ちを表現したいと思っても、脳みそがアホになったのではと思うくらい言葉が出ない。よって、少しエッセイ掲載をお休みさせて頂いた次第です。

喋れないと感じている私に対して周りにはそんな事ないよと言ってくれた友人も多数いたが、私自身、誰かとお話ししなければいけない時は珍しくストレスになり本当は億劫で仕方がなかった。  
特別に産休というものを設けなかったという事もあるが、出産予定日より一週間遅れた関係もあり産後すぐから仕事に関する雑務に追われていた。  
どうしても期日が迫っていた件なんかは入院中にわざわざ病院まで持ってきてもらい待合室で書類を書込んで直ぐに手渡ししたのを覚えている。

とにかく、女性のカラダは不思議な事だらけ。医学的にみたら何らかの理由はあるのだろうけど、それを聞いたから症状が直ぐに改善される事はなく、周りのお母さん達に聞くといろんな症状が出たという人は少なくない。  
でも、人ひとり産み落とし、それこそ不眠不休でベビーのお世話に追われているんだから、何らかの変化が出るのは自然な事だ。  
それでも世の中の母親たちはその変化を受け入れ、時にもがきながらも生きていくのだから女が強いと言われるのは当然の事なのかもしれない。

そしてこの度、産まれてきたのは女の子。名前は「理子」

“技の理合”などで使われる 理の文字は物事と物事の間を示す漢字として用いられる。行間の読める、状況判断の出来る女性になって欲しいと願い付けたこの名前。

先日開催された全日本学生柔道優勝大会に生後2ヶ月にして日本武道館デビューをせざるを得なかった彼女。武道館内のスマイルルーム（託児所）では一度も泣くことなくお迎えの私を待っていてくれた。きっとこれからもたくましく人生を歩むこととなるだろう、、、な。

(近藤 優子)